

## I 趣旨及び対象等について

### 趣旨及び内容

本アンケートは、児童生徒の心の状態を客観的なデータで捉えることで、教職員が児童生徒の置かれた状況に対する理解を深め、必要に応じて適切な教育指導や支援を行うことに役立てるとともに、個々の児童生徒が抱えている課題の早期発見及び未然防止に繋げることを目的とする。

### 対象及び実施時期等

対 象 県内小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の全ての児童生徒

実施時期 令和5年6月 悉皆調査(小学校第3学年以上の全ての児童生徒)  
令和5年10月 希望調査(小学校低学年に対する予備的な調査、小学校第3学年以上の児童生徒)  
※各学校の実態に応じて各月の任意の日を実施

## II アンケートの内容

- こころの状態を「生きる力」「学校適応」「心の不安定」の3つの側面から客観的に捉えるための質問項目
- 「当てはまる、どちらかと言えば当てはまる、どちらかと言えば当てはまらない、当てはまらない」の四件法。

生きる力(12問)	学校適応(12問)	心の不安定(15問)
<ul style="list-style-type: none"><li>○自己評価・自己受容 (「私は、自分のことが好きである」等3問)</li><li>○関係の中の自己 (「私には、自分のことを理解してくれる人がいる」等3問)</li><li>○生きる意欲 (「今を大切に生きていたいと思う」等3問)</li><li>○家庭の居心地 (「私は、家族に支えてもらっているとと思う」等3問)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○教師関係 (「学校の先生は、困ったときに助けてくれる」等3問)</li><li>○友人関係 (「友だちは、私のことをわかってくれる」等3問)</li><li>○学習意欲 (「勉強していて新しいことを知るのは楽しい」等3問)</li><li>○学校が好き (「私は、学校に行くのが楽しみだ」等3問)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○身体不調 (「夜、よく眠れないことがある」等3問)</li><li>○いじめ (「友だちにいやなことをされることがある」等3問)</li><li>○情緒不安定 (「私は、悲しい気持ちになることがある」等3問)</li><li>○発達傾向 (「人の声がうるさく耳をふさぎたくなることもある」等6問)</li></ul>

## III 調査方法

「Google Forms」により回答



児童生徒の回答状況は、クラウド上でデータベース化  
クラウド上のアセスメントシステムにより個票等作成



学校、市町村教育委員会、県教育委員会は、クラウド上で下記の個票等及びローデータを取得・閲覧することができる。  
学校…在籍児童生徒の個票、クラス票  
市町村教育委員会…所管する学校に在籍する児童生徒の個票、クラス票 等